

カタクチイワシ卵稚仔出現状況

(2008. 7- 2)

香川県水産試験場 北本

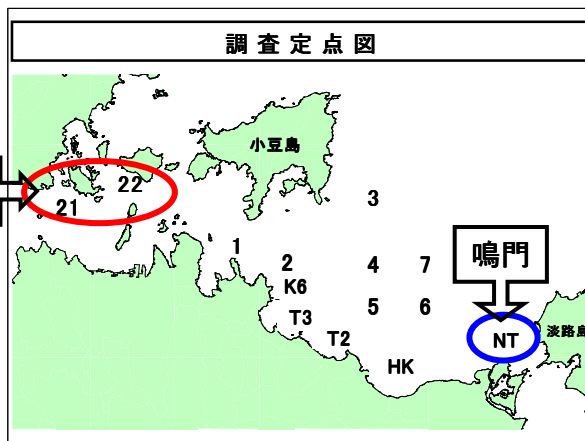
TEL: 087-843-6511

浅海定線調査結果

調査日: 7月18日

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2点+鳴門1点



【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2007.7.19	0	0	5	0	0	0	1	0	1	0	0	-	-	-	0.6	
2008.7.2	3	58	7	2	44	37	2	15	0	5	3	0	0	509	16.0	48.9
2008.7.18	1	2	2	0	1	60	13	0	3	1	0	0	0	53	7.5	9.7

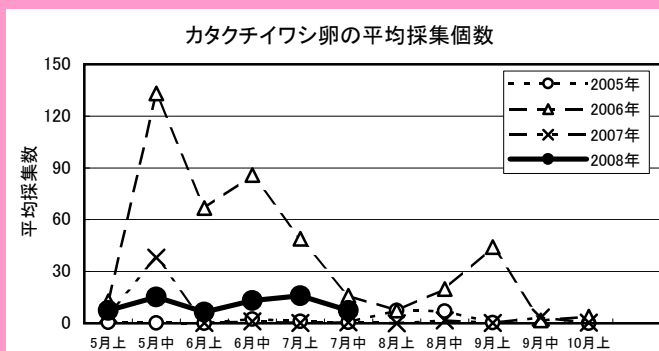
【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2007.7.19	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	-	-	-	0.4	
2008.7.2	1	6	4	4	12	0	1	3	2	0	6	0	0	0	3.5	2.8
2008.7.18	0	0	9	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1.2	0.9

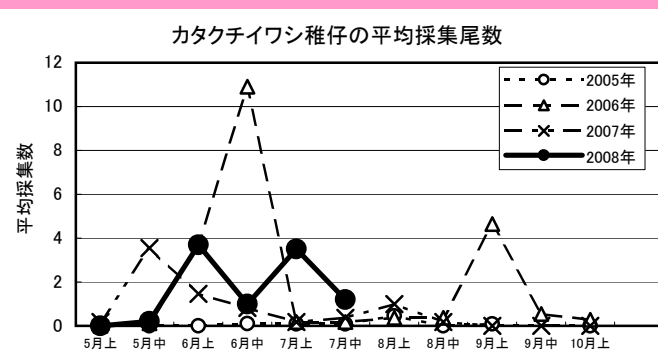
* 表中の「-」は未測定を表す。

* 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸および鳴門を除く)。

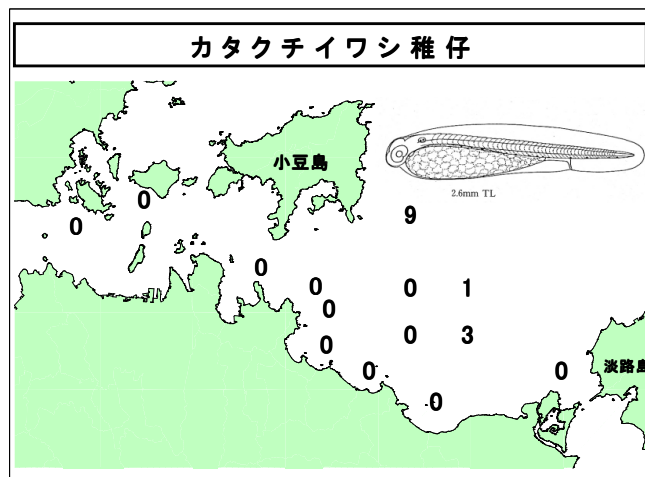
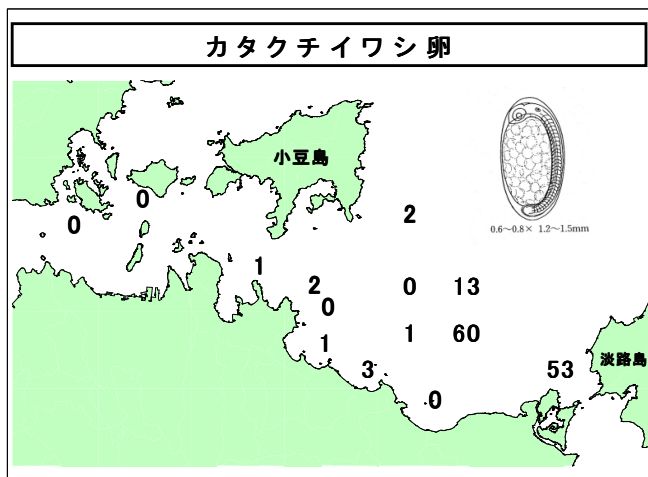
* 14点平均値: 播磨灘11点+備讃瀬戸2点+鳴門1点の平均値を表す。



* グラフの値は播磨灘11定点における平均値を表す。



カタクチイワシ卵稚仔の分布



播磨灘11定点における卵の平均出現数は7.5個、稚仔では1.2尾となり、昨年同時期を上回ったが、前回(7/2)を下回った。卵および稚仔ともに、出現定点の数が前回より少ない傾向を示した。出現の傾向としては、卵では播磨灘においてまとまって採集され、東寄りで稚仔の出現が確認された。

引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、7月中旬は平年を下回る日が数日続き、それ以降は平年を上回りながら推移している。